

一般会計決算総括質疑通告書

令和5年9月4日

議会議長様

会派名 日本共産党

議員氏名 上田 聡

質疑事項	質疑要旨	指定答弁者
1. 町税の分析は	<p>最初に、歳入の面から町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 歳入の根幹である町税は、2020年以來のコロナ禍にもかかわらず、個人町民税をはじめ、ほとんどの項目で前年度を上回っている。その主な要因をどのように分析し、また、評価をしているのか、それぞれの項ごとに明らかにされたい。</p> <p>(2) 一方で、法人町民税だけは、2020年度の4億9,851万1,000円から2021年度4億1,574万7,700円、2022年度4億795万7,800円と下降傾向が続いている。その主な要因をどのように分析し、また、評価をしているのか。歳入に与える影響とともに併せて明らかにされたい。</p>	町長 副町長 担当課長
2. 諸施策の達成状況は	<p>次に、歳出の面における町長の見解を伺う。</p> <p>(1) 2022年度の予算は、古谷前町長が、「杉戸町を元気にする予算」をテーマに掲げ編成し、その後、年度途中から窪田町長がその執行を引き継いだわけだが、総じてどの程度「杉戸町を元気にする」ことができたか自己評価しているか。</p> <p>(2) 第6次杉戸町総合振興計画で掲げた諸施策や成果指標等は、どこまで達成できたのか。特に、達成度の面で課題の残る施策や事業は何だったのか、その要因とともに併せて明らかにされたい。</p>	町長 副町長 担当課長

9月4日 午前・午後 8時45分 受理

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
3. 物件費は	<p>続いて、財政指標や決算状況等について町長の見解を伺う。</p> <p>決算カードによると、過去3か年度の物件費の決算額と歳出に占める構成比は、2020年度は、27億3,073万8,000円で14.8%、2021年度は、前年度比26.7%増の34億6,106万9,000円で22.8%、2022年度は前年度並みの34億6,081万1,000円で22.9%となっており、2021年度以降高水準が続いている。これを踏まえて伺う。</p> <p>(1) 物件費に占める過去3か年度の委託料の割合は。 (2) 物件費の高水準が続いている要因とその評価は。</p>	町長 副町長 担当課長
4. 実質単年度収支は	<p>(1) 決算カードによると、実質単年度収支は2021年度に1億8,480万8,000円を記録し、10年ぶりの黒字となったところだが、2022年度は3億1,131万1,000円の赤字となった。この要因と評価は。</p> <p>(2) 一方で財政調整基金残高は、1億4,974万3,000円を取り崩したものの、前年度の12億9,527万2,000円から2億4,564万8,000円積み増しの15億4,092万円となっている。これをどう見るか。</p>	町長 副町長 担当課長
5. 不用額は	<p>不用額は、2019年度が4億7,689万7,923円、2020年度が2,391万8,778円増の5億81万6,701円、2021年度が7,886万9,060円増の5億7,968万5,761円、2022年度に至っては、2億4,291万9,436円増の8億2,260万5,197円と増加の一途をたどっている。これを踏まえて伺う。</p> <p>(1) 不用額大幅増の主要かつ根本的な要因は。 (2) 不用額の金額及び割合が大きかった事業は。</p>	町長 副町長 担当課長

質疑事項	質 疑 要 旨	指 定 答 弁 者
	<p>(3) これに対し監査委員は、決算審査意見書において、「当初予算の積算方法を精査するとともに、情勢の変化を捉えた効率的な予算執行と適時の補正等を行われたい」といったことを毎年恒例のように指摘している。町長はこうした指摘をどう受け止めているのか、今後の改善につなげる見通しや方策等も含めて明らかにされたい。</p>	